**令和４年度　第１回　住吉区地域福祉専門会議 会議要旨**

配付資料④

１　日　時　　令和４年６月30日（木） 午後６時から午後８時

２　場　所　　住吉区役所　４階　第４・５会議室

３　出席者

（委　員）

稲田委員、大谷内委員、北原委員、西田委員、八牟禮委員、藤居委員、

宮川委員、山下委員、吉田委員、

小野アドバイザー

（区役所他）

区長、副区長、関係課長、課長代理、担当係長

住吉区社会福祉協議会　事務局長、地域支援担当係長

４　議　題

　報　告

（１）住吉区地域見守り支援システム進捗状況について

　（２）地域座談会の開催状況について

（３）住吉区地域福祉ビジョンVer.２　令和３年度事業の進捗状況について

議　事

　　〇　住吉区地域福祉ビジョンVer.２　令和３年度事業総括と令和４年度事業

計画について

５　議事要旨等

〇「住吉区地域福祉ビジョンVer.２」の令和３年度事業を総括するとともに　　令和４年度事業計画について意見をいただいた。

　主な委員意見

　　〇総括で、（２）③のA「総合的な支援調整の場（つながる場）」の活用について、昨年作成された「住吉区相談支援機関ガイドブック」は良い取組みなので評価に入れるべき。

　　〇つながる場の個人情報の取扱いについて、複合課題を抱えた世帯であっても、個人情報の取扱いが壁になってつながる場にかけられない場合がある。必要なケースについては、個人情報の取扱いができるように検討してもらいたい。

　　〇ヤングケアラーについて、大阪市において市立中学校の生徒にアンケートを実施しているが、区としても区内中学校に調査を行うなどして実態を掴み、取組みを深めていってもらいたい。

　　〇学校が抱えている問題　不登校、家に引きこもらないようにどのように支援していくのか。福祉支援が必要。

　　〇住吉区はNPOとの連携が無い。福祉的支援においてNPOがきめ細やかな支援を行っている。そういうNPOとの連携を図っていくべき。

　　〇ヤングケアラーについて、地域ではまだまだ知られていない。わかってもらえたらいいなと思う。

　　〇小地域に多様性を担保していかないと、ヤングケアラーや引きこもりなど様々な社会課題が表に出てこないのではないか。これからはいかに種別を打破していくか、縦割りを廃し、専門職や行政機関が種別を打破することを意識しながら地域づくりをやっていく必要がある。

６　令和４年度の開催日程について（予定）

第2回　令和４年９月22日（木）　午後６時から

　　　　第3回　令和５年２月16日（木）　午後６時から